

新田城跡の発掘調査

(1) 新田城跡の歴史

- 1393 (明德 4) 年以降 : 築城 (推定)
- 1567 (永禄 10) 年 : 父 (新田行政) の葬礼のため、根城南部氏政栄が新田城に赴いた際、櫛引氏が根城を襲う。
※新田氏 = 根城南部氏一族の中でも本家に次ぐ家格
- 1592 (天正 20) 年 : 破却
- 1627 (寛永 4) 年 : 根城南部氏の遠野移封へ同行し、新田氏が八戸を離れる。
- 1766 (明和 3) 年 : 八戸藩主隠居後の別邸がつくられる。

(2) 新田城跡の特徴

① 戦国時代の中世城館

- 1539 (天文 8) 年 : 本三戸城 (聖寿寺館) 火災
- 1567 (永禄 10) 年 : 根城城下襲撃事件

② 防御性の高い城づくり (山城)

- ・ 大規模な堀や土塁
- ・ 複雑な虎口

「曲輪」 : 削平・盛土し、平らにした場所

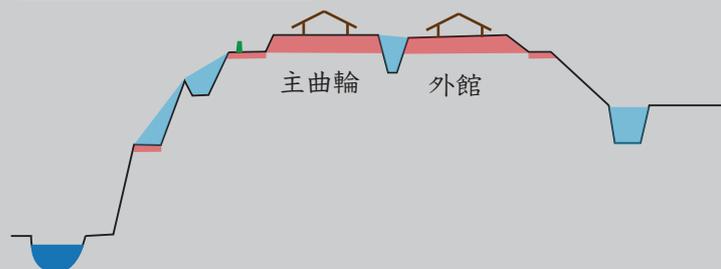
「帯曲輪」 : 斜面中に細長くつくられた曲輪

「堀」 : 曲輪を区画する、もしくは防御のためにつくられた溝

「土塁」 : 防御のためにつくられた土手状の盛土

「虎口」 : 城の出入口

③ 新田城の規模と範囲 (推定)



新井田川



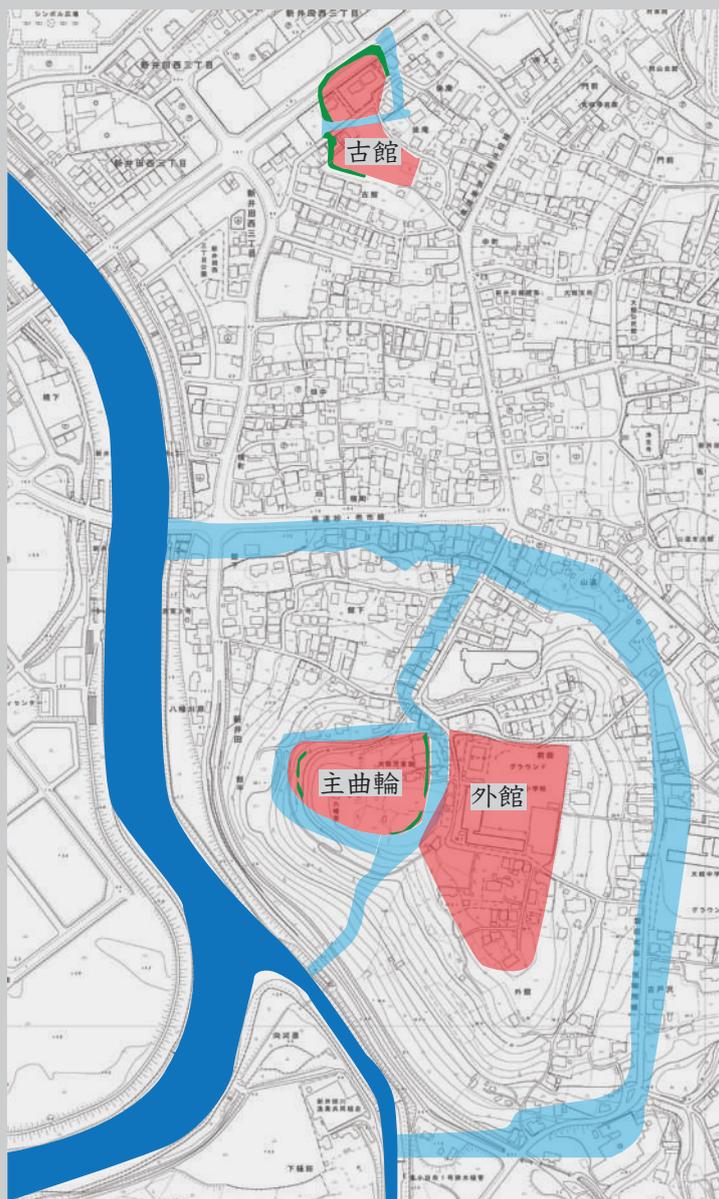
曲輪・帯曲輪



堀



土塁



(3) 新田城跡の発掘調査と縄張調査

